

「笑顔のメッセージ」出版挨拶

私が25年勤務した訪問の家を退いて、半年が経ちました。訪問の家を完全に引いて十愛療育会専任となり、改めて訪問学級時代、作業所時代、そして訪問の家での日々を思うことも多く、思い切って私の人生の半分以上を共に過ごした重症心身障害児者と呼ばれる人たちとその家族の方々、地域の方々との出会いなど、心に残った事々を書きとめようと思い立ちました。そしてそのことが、これからの十愛療育会での私の役割を明確にすることにもつながると考えました。

もとより文才のない私ですので、私自身の思いの半分も表現できない悔しさは残りますが、何も出来ない人たちだと社会から思われている人たちが、実はこれだけ「存在としての輝き」をもっている人たちだと感じてきた私自身の思いの一端でもお伝えすることができれば幸せだと思っています。

お一人でも多くの方々にお読みいただけたら幸いです。

2010年 秋

白 浦 美 智 江